



保存版
緑区洪水ハザードマップ
洪水浸水想定区域(計画規模※)
 鶴見川水系河川: 鶴見川、恩田川、梅田川

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※計画規模とは「河川整備の目標とする降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

令和2年7月 横浜市

お問い合わせ先 (平常時)

お問い合わせ内容	取り扱い部署	連絡先
地域防災・避難等に関すること	緑区役所総務課	930-2208
人命救助・救急に関すること	緑区消防	932-0119
道路・下水道・公園に関すること	緑土木事務所	981-2100
緑に関すること	緑区環境緑地課	671-2948
河川に関すること	国土交通省関東地方整備局京浜川河川事務所防災課	503-4018
浸水想定区域全般に関すること	神奈川県土木部河川課	210-6479
河川管理区域の河川に関すること	国土交通省関東地方整備局京浜川河川事務所防災課	503-4018
浸水想定区域の河川に関すること	神奈川県川崎市河川課	411-2500
河川に使用している構造物に関すること	横浜市河川課	671-2948
洪水ハザードマップ全般に関すること	横浜市河川課	671-2011

凡例

○浸水深のめやす

○避難する際に注意する箇所

○指定緊急避難場所一覧

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
1	山下小学校	北八間1865-3	G-3
2	鶴居小学校	鶴居4-7-15	I-4
3	新海小学校	新海町788	E-3
4	高の台小学校	高の台13-1	F-4
5	長津田小学校	長津田町2330	C-2
6	十日市場小学校	十日市場町1392-1	E-3
7	三保小学校	三保町1867	F-3
8	竹山小学校	竹山3-1-16	H-5
9	長津田第二小学校	長津田町2469-3	B-2
10	東本郷小学校	東本郷5-40-1	J-4
11	上山小学校	上山2-5-1	G-4
12	鶴居中学校	鶴居5-12-35	H-4
13	東本郷中学校	東本郷3-39-1	I-4
14	鶴が丘学園(小学部)	鶴が丘4-3	D-4

風水害時における避難場所について

○災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

○2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

○すでに浸水が始まっている場合には無理に避難場所へ移動せず、浸水していない高いところに避難してください。

指定緊急避難場所一覧

○指定緊急避難場所※はあくまでも避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、すべての避難場所を開設するわけではありません。

※指定緊急避難場所：災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

洪水浸水想定区域(計画規模)はどのように決めたの?

こちらの洪水浸水想定区域※は、平成27年に改正された水防法に基づいて、平成28年8月に国土交通省と神奈川県が指定・公表したものです。

この洪水浸水想定区域の範囲やその深さは、計画規模の降雨(2日間で約405ミリ)を前提として、川の水量があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

(横浜地方気象台では、平成26年10月5日から6日にかけて352ミリの降雨を観測しています。)

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道からの浸水、水路の氾濫を考慮していませんので、青色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 国土交通省関東地方整備局京浜川河川事務所ホームページ
https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html

※2 横浜地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/8.html>

情報を入手しよう

災害が発生する危険性が高まり、避難する必要が生じた場合に、横浜市は、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」のほか「屋内での待避その他の屋内における避難のための安全確保に関する措置(屋内での安全確保措置)」の指示を発令します。

自動配信されるもの(PUSH型)

- 横浜市防災情報Eメール 要事前登録
- 防災アプリ 要事前登録
- Twitterアラート 要事前設定
- Facebook 要事前登録
- 緊急速報メール
- 親水拠点警報装置・河川水位情報システムなど
- 緊急警報放送
- 広報車による広報

自身で情報収集するもの(PULL型)

- ホームページ
- 横浜市防災情報
- レインアイよこはま
- 降水ナウキャスト
- 横浜市トップページ(緊急情報)
- Twitter(横浜市防災Twitter) @yokohama_saigai
- テレビ ケーブルテレビ データ放送
- tvk(テレビ神奈川) データ放送 ラジオ
- コミュニティFM放送

避難情報がでたら ~避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は、速やかに避難を開始してください~

避難情報の発表の基準となる水位(イメージ)

警戒レベル 発令元 とるべき行動 避難情報(横浜市) 気象情報(気象庁) 水位情報(神奈川県) 避難情報の発表の基準となる水位(イメージ)

警戒レベル5 発令元: 横浜市 とるべき行動: 命を守るための最後の最善の行動をとる。 避難情報(横浜市): 災害発生情報 気象情報(気象庁): 大雨特別警報等 水位情報(神奈川県): 氾濫発生情報

警戒レベル4 発令元: 横浜市 とるべき行動: 命を守るための最後の最善の行動をとる。 避難情報(横浜市): 避難指示(緊急) 気象情報(気象庁): 大雨特別警報等 水位情報(神奈川県): 氾濫発生情報

警戒レベル3 発令元: 横浜市 とるべき行動: 命を守るための最後の最善の行動をとる。 避難情報(横浜市): 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報(気象庁): 大雨特別警報等 水位情報(神奈川県): 氾濫発生情報

警戒レベル2 発令元: 気象庁 とるべき行動: 命を守るための最後の最善の行動をとる。 避難情報(横浜市): 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報(気象庁): 大雨特別警報等 水位情報(神奈川県): 氾濫発生情報

警戒レベル1 発令元: 気象庁 とるべき行動: 命を守るための最後の最善の行動をとる。 避難情報(横浜市): 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報(気象庁): 大雨特別警報等 水位情報(神奈川県): 氾濫発生情報

もしもの時にそなえよう

洪水ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう

- 自宅付近が洪水で浸水した時のくらの水深になるのか確認しよう(浸水深のめやすの凡例参照)。
- 自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、洪水ハザードマップに書き込みましょう。鉄道や道路を渡る場所を確認しよう。なお、災害の状況により、開設する避難場所は異なります。避難する際は、市・区ホームページ等で開設している避難場所を確認してください。
- 河川から離れた場所でも下水道など下水道などから水があふれることがあります。公表されている「洪水ハザードマップ」を参考に、自宅付近で浸水のおそれがある区域を確認しよう。
- 地域では、このハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげよう。

避難時の持ち出し品を確認しよう

- 避難時の持ち出し品は日ごろから準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 持ち出し品はできるだけ少なくしよう(ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ベビー用品、マスクなど)。また、リュックサックなど、両手があくものに収まる程度にしよう。
- 避難場所には食料、水、タオルなど、必要のものを持参しよう。

側溝や雨水ますを点検しよう

- 側溝や雨水ますをふさがないようにしよう。
- 雨水ますの取込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。
- 雨水ますや側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。

浸水に備えよう

- 家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用した水のうを使って浸水を防ぐことができます。
- 大雨の際は、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぎましょう。

浸水防止対策は応急処置です。浸水の危険性を感じたときは、早めに避難しましょう。

大雨のときはこんな点に注意しよう

こまめな情報収集を心がけよう

インターネット、テレビ、ラジオ、携帯電話、スマートフォン

集中豪雨に注意しよう

突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。

やや強い雨 1時間に10~20mmの雨 地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く続く時は注意が必要。

強い雨 1時間に20~30mmの雨 傘をさしているにもかかわらず、足元がぬれる。側溝や下水などがあふれる。

激しい雨 1時間に30~50mmの雨 バックをひっくり返したような雨。道路が川のようななる。

非常に激しい雨 1時間に50~80mmの雨 水がきざり、一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれがある。避難準備が必要。

地下街・地下施設の浸水は危険です

浸水の危険性があると感じたときは、速やかに地上階に避難しよう。

安全な経路で避難しよう

河川沿いや急傾斜地(崖)沿いの道は避けて避難しよう。大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があります。転落しないよう十分に注意して、近寄らないようにしましょう。

安全な場所へ避難(水平避難)

避難場所※、近くの高地、土砂災害警戒区域外の親戚の家など ※すべての避難場所を開設するわけではない。避難する前に、避難場所が開設されているか、市・区ホームページ等で確認しよう。

建物内の安全な場所待機(屋内退避)

(夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとうる危険な場合)

隣近所へ声をかけ合おう

高齢の方、子ども、障害のある方などは避難に時間がかかるため、早めの避難が必要。洪水時には地域の皆さんで協力して安全に避難しよう。